

令和3年度全国学力学習状況調査報告を受けて

〈教科に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析〉

○国語の調査結果にみられる特徴と現状

すべての項目で全国平均を上回っています。普段の授業の中で読むことはもちろん、作文やスピーチにも積極的に取り組んできた成果だと思います。全体的なバランスを見ると、短答式の結果が他の項目と比べるとやや低い傾向にあります。この結果をみると、漢字の読み書きや、敬語の適切な使い方について課題があると見られます。漢字の読み書きはもちろんだが、敬語も2年生で学習するところなので、1、2年生にも共有し、重点的に取り組んでいきたいです。

○数学の調査結果にみられる特徴と現状

すべての項目で全国平均を上回っています。記述式の問題や関数の結果が高い傾向にあります。本校ではこのようなじっくりと考えて取り組む問題を得意とする生徒が多いです。また、授業でもグループ学習や教え合い学習を行っており、得意な生徒が、苦手な生徒に教えることで、相乗効果が生まれていると思います。数学科で各学年同じ足並みで行えているので、今後も続けていきたいです。

〈質問紙調査の結果にみられる特徴と現状分析〉

○学校質問紙調査の結果にみられる特徴と現状

ほぼすべての項目で全国平均を上回っています。しかし、家庭や地域との連携等の部分で全国平均を下回っています。理由としてはコロナ禍により、地域や家庭との連携が図れないからです。例年だと地域の方を呼んで行っている行事や保護者を呼んでの行事が行えていません。今後はそんな状況でも繋がれるようにオンライン等の対応を考えていきたいです。

○生徒質問紙調査結果にみられる特徴と分析

すべての項目で全国平均値とほぼ同値であり、生徒の学習への関心の高さが伺えます。また、生活習慣や学習習慣、規範意識も高い値です。この現状に安心せず、生徒の学習意欲が湧くような授業、特にタブレットPCを有効活用した授業を積極的に行っていききたいです。落ち着いた環境で授業ができているのは、保護者の方々の協力があるからです。保護者の方々に感謝し、今後も連携を図っていきます。

〈改善策・検証方法〉

○改善目標

- ①授業の資質向上
- ②コロナ禍における保護者・地域との関わりについて
- ③教職員・生徒のタブレットPCの有効活用について

○改善方策

- ①2学期、3学期に校内授業研を行います。また、2か月に1回、教科部会を行い、同一歩調で生徒に対応できるようにしていきます。
- ②コロナ禍でも交流ができるように行事を学年で分けるなど工夫して取り組んでいきます。
- ③まずは、教職員がタブレットPCを有効活用できるように、各学期に1回研修日を設定します。授業の中で少しでもPCを使う機会を作れるように努力します。

○検証方法

- ①2、3学期末に生徒にアンケートを取り、評価してもらいます。教職員には学校評価アンケート等を活用し、評価してもらいます。
- ②2学期末に行う、学校評価アンケートにて評価してもらいます。
- ③2学期末に行う、学校評価アンケートにて評価してもらいます。